

場 所		分 類		被ばく低減対策好事例集						
原子炉建屋内	R B	R B R	1 時間	番号 0 2 - 1 1						
タービン建屋内	T B		2 距離							
R ZONE	R		3 遮へい							
Y ZONE	Y		4 線源の除去							
G ZONE	G		5 遠隔、スポット化							
その他	Z		6 汚染拡大防止							
()			7 その他							
内 容		高線量 6 m^3 コンテナからの距離確保と工法カイゼン								
作業場所		2号 R/B 構台上前室エリア								
概 略		放射線管理員の被ばく低減を目的に遮へいBOXの設置とスミア採取治具を使用して高線量 6 m^3 コンテナの汚染確認を実施した。								
評 価 (定性・定量)	効 果			対策前	対策後					
		被ばく線量 (mSv)		—	—					
		人工数 (人日)		—	—					
事例詳細										
<p>対策前 高線量 6 m^3 コンテナの移動前に汚染確認をする必要があり、被ばくする恐れがあった。</p> <p>対策内容 放射線管理員が遮へいBOX内からスミア棒を伸ばし 6 m^3 コンテナの汚染確認を実施した。</p>										
<p style="text-align: center;">放射線管理員待機エリア</p>  <p>遮へいBOX</p> <p>スミア棒（伸縮用）</p> <p>遮へいBOX内線量当量率 $4.0 \text{ mSv/h} \Rightarrow 2.0 \text{ mSv/h}$</p> <p>鉄板+鉛：$2.2 \text{ mm} + 9 \text{ mm}$ 遮蔽効果：約54%</p> <p>最大 6m まで延長可能</p> <p>スミアを先端に取り付け 多角的に変形 連続採取</p>										